

## 論文審査の結果の要旨

2022年2月16日

申請者：DL2015-106 方 圓

論文題目：語彙知識の広さと深さの両側面から見る日本語単語暗記アプリの利用効果

第二言語習得においては、語彙学習が重要視されている。スマホが普及するにつれて、単語暗記アプリも多く開発されて、学習者に多用されている。しかし、日本語語彙学習アプリに関する研究はほとんどその利用状況に留まっており、語彙記憶、語彙学習をどう促進しているか、その利用効果に関する研究はほとんどない。本論文は、記憶メカニズムに関する「転移適切処理」「二重符号化理論」「テスト効果」と「語彙知識の枠組み」を用いて、語彙知識の広さと深さの両側面から、日本語単語暗記アプリの各機能のデザイン、語彙知識の提示方法・内容、テスト、練習問題を評価した。さらに、中国人日本語学習者のアプリ利用評価を踏まえ、日本語単語暗記アプリの問題点を明らかにし、改善に向けた方向性を示している。しかしながら、すべての論文がそうであるように、方圓氏の論文も優れた点を持つと同時に、さらに検討が必要な課題（問題点）を持っている。以下、まずは課題を列挙する。

1.研究対象である四つのアプリのうち、「沪江开心词场」と「Drops」は日本語のみではなく、他言語を含む単語暗記アプリであり、使用者のどのぐらいが日本語学習者であるかを確定できない。そして、他言語の単語アプリであるため、その機能のデザイン及び練習問題の出題方式などは日本語のみではなく、他言語の共通性を考慮する必要があると思われるため、日本語の単語暗記アプリの代表として分析すること、及び結果の限界性について説明する必要がある。

2.方圓氏自身が述べているように日本語の単語暗記アプリの利用効果は単語の品詞、学習者の日本語の習熟度、文化などの複雑な要因が関わっている。本論文では、そのような要因を考慮しておらず、記憶メカニズムに関する理論と語彙知識の枠組みに適合しているかどうかのみで利用効果を判断している。そのため、先行研究と比較しながら十分な考察を行っていたら、本論文の研究価値を大幅に高めたと言えよう。

以上のような問題点や課題を持つものの、他方、方圓氏の論文は、次の点で評価できるものである。

1.これまでの研究は単語暗記アプリの開発中心に行われており、単語暗記アプリがどのような側面で、どのように語彙記憶・学習を促進しているかを考察した研究はほとんどないため、本論文の独創性が評価できる。また、方圓氏の論文では語彙知識の広さと深さの両側面から考察しており、研究価値を大幅に高める視点であったと言えよう。

2.日本語学習者に不可欠な単語暗記アプリについて評価の枠組みを与えたことは大きな意義を持っている。方圓氏の論文では、記憶メカニズムに関する理論と語彙知識の枠組みに基づき、日本語単語暗記アプリの語彙の提示方法、テスト機能のデザイン、出題形式に関するアプリの評価の枠組みを詳しく示した。ユビキタスコンピューティングの時代に入り、単語暗記アプリに関する研究は、今後も期待される分野である。そのため、本研究は今後の研究に寄与してくれると言えよう。

3.単語暗記アプリの評価の枠組み及び評価結果を明確に示しており、さらに中国語を母語とする日本語学習者の利用評価を踏まえ、日本語単語暗記アプリの問題点を明らかにし、改善に向けた方向性を、明確に示していることは高く評価されるべきものである。

以上、本委員会は、本学位論文の内容を慎重に審査し、2022年2月16日に実施された公開の口頭試問による最終試験の結果を踏まえ、方圓氏が博士の学位を授与されるにふさわしいとの結論を得たのでここに報告する。

審查員（主查） 王 冲 \_\_\_\_\_

審查員（副查） 杜 鳳剛 \_\_\_\_\_

審查員（副查） 袁 福之 \_\_\_\_\_